

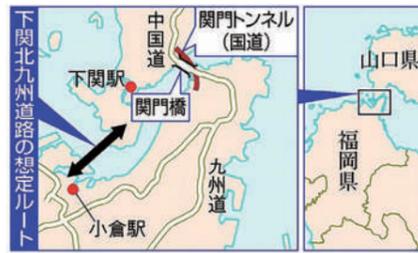
共産党以外「オール与党」県議会で 県政のチェックができるんでしょうか？

この4年間、県議会は日本共産党をのぞいて自民・公明・民主などの「オール与党」状態。知事の予算案・議案に“なんでも賛成”です。これでは県政のまちがい・ムダづかいのチェックはできません。



不要
不急

下関北九州道路計画も こぞって推進 3500億円



関門橋も関門トンネルも定期的にメンテナンスをすれば、まだ長く使えます。また、計画地には活断層があります。採算については見通しが示されていません。こんな不要不急の計画を、福岡県と自民・公明・民主県政クラブの「オール与党」議会が推進しています。

下関北九州道路計画について、共産党は一貫して中止を求め、計画をやめさせるために力をつくしてきました。

※日本共産党の2人と他会派の3人を除き北九州下関道路整備促進福岡県議会議員連盟に参加

地方議会の維新は

北九州市議会の維新は東京オリンピック・パラリンピック汚職の徹底解明を求める意見書案に反対。福岡市議会の維新は、他人になりすまし、他人を貶めるピラをまいて辞職に追い込まれました。「改革」どころかムダづかいも不正もただせません。

県民の声を届け、道理ある提案で県政動かす 日本共産党をのばしてください



防災・減災に 力をつくす

ダム依存から転換



福岡県は過大な水需要予測に基づき、巨大ダム建設を次々と行い、同時に河川整備を後回しにして、ダムによる治水をすすめてきました。

その結果、住民は高い水道料金に苦しめられ、河川整備計画は52水系中17水系しか策定されていません。共産党は、災害後対策が進んだ福岡市の御笠川や北九州市の紫川の例をあげ、河川整備やため池の活用などを進めるとともに、建設されたダムについては「事前放流」を提案するなど、防災・減災に力を尽くし、「流域治水」に転換させてきました。

教員採用1.5倍に増やす

共産党の議席がなかった2014年、県の非正規教員率は全国ワースト2位でした。共産党は正規の教員を増やして少人数学級とするよう何度も県に求めました。2014年は県立高校を含めて710人（政令市除く）だった教員採用数は、現在約1200人となっています。

コロナから命まもる

コロナ病床大幅増

当初、県はコロナ病床を760床としたものの、300～400床にとどまっていた。共産党は、その引き上げを求め、コロナ病床は2000床（2022年9月現在）へと大幅に増やしました。

無料PCR検査実現

県は、PCR検査について、国と同様に受けられる人を限定していましたが、共産党は、面的な検査や社会的な検査を再三求め続け、無料検査が実現しました。

築城基地の「米軍基地化」許すな

航空自衛隊築城基地における米軍用の施設建設が進み、米軍の共用が始まる予定です。自公政権の大軍拡によ



り、築城基地が米軍の出撃拠点にされかねません。反戦平和をつらぬく日本共産党をのばしてください。

国の悪政にも言わない県政 築城基地の米軍基地化について他の党は取り上げません。知事も、「国において適切に対応されるもの」と見解を示しません。



福岡市東区(新)
わたぬき英彦



小倉南区(新)
いなつき昌子



八幡西区(元)
まじま省三



若松区(前)
山口つ子

日本共産党が2人、4人になれば発言力・実現力2倍に